



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月26日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <https://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 裕

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員技術開発本部長  
兼 IR・経営企画担当

(氏名) 加納 慎也 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,122	5.9	1,063	15.9	1,108	14.0	722	15.9
2022年3月期第3四半期	24,673	5.8	917	△24.3	972	△23.6	623	△23.6

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	77.83	—
2022年3月期第3四半期	67.23	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	41,848	35,368	84.5
2022年3月期	42,143	35,399	84.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 35,368百万円 2022年3月期 35,399百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	7.1	2,000	12.3	2,050	11.0	1,370	10.4	147.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	10,903,240株	2022年3月期	10,903,240株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,615,689株	2022年3月期	1,623,889株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	9,286,835株	2022年3月期3Q	9,273,516株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期3Q 178,500株、2022年3月期 186,700株、2022年3月期3Q 186,700株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予想情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立により正常化が進み、景気の持ち直しの動きが続いております。一方で、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の状況に引き続き注視する必要があります。

このような状況にあつて当社は、生産部門においては、生産設備の更新を計画的に実施し、品質及び生産性の一層の向上を図っております。営業部門においては、新製品を軸に主要製品のPR活動に注力し、見積獲得、受注獲得に向けて取り組んでおります。また、引き続き、技術担当者による営業支援を実施しております。

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、受注高としましては前年同四半期と比較して10.7%の増加となりました。また、売上高としましては、官公庁向けでは、文化施設が好調に推移しております。民間向けでは、首都圏を中心とした主要都市部における旺盛なオフィス需要を背景にオフィスが順調に伸張し、学校・体育施設、工場も好調に推移しております。品目別では、オフィス需要の大半を占める可動間仕切、宿泊施設の需要回復や学校需要を捉えた移動間仕切が好調に推移しております。

売上高全体としては、261億22百万円となり、前年同四半期と比較して5.9%の増加となりました。受注残高につきましては、前年同四半期と比較して22.0%の増加となりました。

利益面につきましては、原材料価格上昇の影響を価格転嫁による増収効果で補うには至らず、売上総利益率は32.0%（前年同四半期比0.4ポイント悪化）となりましたが、売上総利益が前年同四半期と比較し3億47百万円増の83億48百万円（前年同四半期比4.3%増）となった結果、営業利益10億63百万円（前年同四半期比15.9%増）、経常利益11億8百万円（前年同四半期比14.0%増）、四半期純利益7億22百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

当第3四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

## 品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	10,710	114.1	12,102	114.3	4,782	133.0
固定間仕切	5,453	94.8	6,212	100.4	4,877	108.0
トイレブース	4,798	98.1	6,031	107.9	3,701	120.6
移動間仕切	3,785	115.0	4,889	122.8	4,784	130.0
ロー間仕切	404	99.9	446	103.0	111	129.5
その他	970	102.5	1,033	106.0	464	117.7
合計	26,122	105.9	30,715	110.7	18,722	122.0

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は418億48百万円となり、前事業年度末と比較して2億94百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は273億52百万円となり、前事業年度末と比較して1億20百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金3億28百万円、受取手形、売掛金及び契約資産2億52百万円等の減少と、棚卸資産2億56百万円、電子記録債権2億円等の増加によるものであります。固定資産は144億96百万円となり、前事業年度末と比較して1億73百万円の減少となりました。

負債の部では、流動負債は41億2百万円となり、前事業年度末と比較して5億97百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金5億円、未払法人税等2億75百万円等の減少と、買掛金86百万円等の増加によるものであります。固定負債は23億77百万円となり、前事業年度末と比較して3億34百万円の増加となりました。これは主に、退職給付引当金98百万円等の増加によるものであります。

純資産の部では、純資産の総額は353億68百万円となり、前事業年度末と比較して31百万円の減少となりました。以上の結果、自己資本比率は84.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、2022年10月27日に公表しました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,335	15,006
受取手形、売掛金及び契約資産	8,902	8,650
電子記録債権	2,214	2,414
棚卸資産	818	1,075
その他	201	205
流動資産合計	27,472	27,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,216	11,387
機械装置及び運搬具	7,316	7,383
土地	4,646	4,646
その他	1,275	1,558
減価償却累計額	△12,536	△13,130
有形固定資産合計	11,918	11,845
無形固定資産		
	450	422
投資その他の資産		
その他	2,308	2,234
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	2,300	2,228
固定資産合計	14,670	14,496
資産合計	42,143	41,848
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,956	2,043
未払法人税等	275	—
賞与引当金	1,000	500
その他	1,468	1,559
流動負債合計	4,700	4,102
固定負債		
退職給付引当金	1,679	1,778
役員退職慰労引当金	86	86
役員株式給付引当金	144	177
その他	132	335
固定負債合計	2,043	2,377
負債合計	6,743	6,480

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	31,803	31,721
自己株式	△2,595	△2,582
株主資本合計	35,343	35,274
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55	93
評価・換算差額等合計	55	93
純資産合計	35,399	35,368
負債純資産合計	42,143	41,848

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	24,673	26,122
売上原価	16,671	17,773
売上総利益	8,001	8,348
販売費及び一般管理費	7,084	7,285
営業利益	917	1,063
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	11
受取保険金	12	—
受取家賃	19	19
その他	10	13
営業外収益合計	55	45
経常利益	972	1,108
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	—	28
特別利益合計	2	29
特別損失		
固定資産除売却損	2	6
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	2	6
税引前四半期純利益	972	1,131
法人税、住民税及び事業税	139	240
法人税等調整額	209	168
法人税等合計	348	408
四半期純利益	623	722



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。